人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

≪試料・情報の利用目的及び利用方法≫	●研究の名称 食道癌術後経腸栄養管理の最適化に関する後ろ向き観察研究
	●研究の対象 2009 年 1 月～2021 年 12 月に当院で食道癌、食道胃接合部癌と診断を受け、治療を受けられた20歳以上の方　約200 名
	●研究の目的 切除可能な食道がん、食道浸潤の高度な食道胃接合部癌の標準治療は食道亜全摘術です。食道亜全摘術は手術侵襲が大きく、また、術後食事摂取量の回復までに時間を要するため、経腸栄養が有効と考えられています。しかしながら、経腸栄養が栄養状態の改善や長期予後に有効であるかはまだまだ不明な点が多くあります。この研究では、これらの治療を受けた患者さんのカルテデータから、術後経腸栄養と術後栄養状態や長期予後との関連を明らかにすることを目的とします。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日 から 2031 年 12 月まで
	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
≪利用し、又は提供する試料・情報の項目≫	●研究に使用する試料・情報 年齢、性別、既往歴、飲酒歴、喫煙歴、診療記録、臨床病期、治療内容、血液検査所見、画像検査所見、手術記録、病理組織学検査結果など
≪利用する者の範囲≫	●機関名および責任者名 浜松医科大学　外科学第二講座　竹内　裕也

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

≪試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称≫	浜松医科大学　外科学第二講座　竹内　裕也
≪試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）≫	あなたの試料または情報を研究に使用することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。
≪資料の入手または閲覧≫	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
≪情報の開示≫	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
≪問い合わせ先≫	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名：　外科学第二講座 担当者：　羽田　綾馬 TEL：　053-435-2279 E-mail：　r.haneda@hama-med.ac.jp